



5月 給食だより



さわやかな風に、暖かい日差し。外遊びやお散歩が楽しい季節になりました。園の給食にもなれましたか？たくさん遊んでたくさん食べて元気な声とニコニコ笑顔をたくさん見せてくださいね。



子供にとってのおやつ役割

- ★おやつも小さな食事
- ★不足している栄養素の補い
- ★エネルギー補給
- ★精神的な安らぎ、休息感を得る

おやつは食べる時間を決めて、食べ過ぎないことが大切です。
おやつからとる栄養量は一日の食事量の10～15%
(100～200kcal程度)

また、お菓子だけではなく、果物を取り入れたり、ヨーグルトやチーズなどの乳製品もおすすめです。



★5月5日☆端午の節句★

5月5日はこどもの日「端午の節句」です。こいのぼりや武者人形よろいかぶとを飾り、柏もちやちまきを食べて、男の子の成長を祝う行事です。またこの日は「しょうぶの節句」ともいわれます。菖蒲の葉を枕の下に入れたり、お風呂に入れたりして邪気をはらっていました。「しょうぶ」と言えば、滑川市内の児童館近くの行田公園では、約4万株が咲き誇る「花しょうぶ祭り」が有名です。見どころはまだ先ですが、家族で散歩に行かれた際には、話題のひとつに行事食のお話をするといいですね。

『柏もち』



柏は新芽が出ない限り古い葉が落ちないことから、家が絶えない、後継者が絶えることがないという縁起の良い木として考えられてきました。柏の葉は香りが強いため、邪気を払うといわれています。

こどもはまねっこ名人！

食事のマナーもまねっこしている間に、正しいマナーをカラダがおぼえていきますよ。

「ママとパパがお手本」なので、なかなか難しい身につくづらいルールもいつのまにか当たり前に。

なじみがないことも、いつの間にかチャレンジしてくれるはず。



なんでも食べられるようになるのは、言葉の発達と同じ、学習発達です。

生まれた時に乳しか飲めなかった赤ちゃんが、様々な食品を食べられるようになるまでには、食品との初めての出会いを繰り返しながら少しずつ食べられるようになっていくのです。「今は未だ食べられるようになっていない」だけ。少しでも食べることができたら褒めてあげてください。

成功体験を増やしてあげましょう。

旬とは、自然の中で育てた野菜や果物・魚がとれ、栄養満点でおいしく食べられる時期のこと。食べ物によって旬が違います。

5月の旬野菜は、玉ねぎ、タケノコ、グリーンピース、アスパラガス、春キャベツなど。

「今の旬はなにかな？」などと子どもたちと探してみたり、買って食べたりしても楽しいですね。

